

## 面積と回転体の体積

絶対暗記問題 63

難易度 ★★

CHECK1

CHECK2

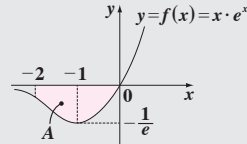
CHECK3

曲線  $y = x \cdot e^x$  と、 $x$  軸と直線  $x = -2$  とで囲まれる図形を  $A$  とおく。

(1)  $A$  の面積  $S$  を求めよ。

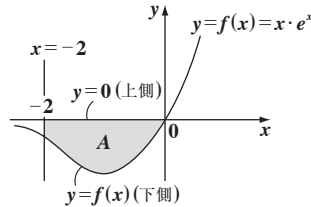
(2)  $A$  を  $x$  軸のまわりに回転してできる立体の体積  $V$  を求めよ。

**ヒント!** 曲線  $y = f(x) = x \cdot e^x$  とおくと、このグラフの概形については、P138で既に解説したように右図のようになり、図形  $A$  は右図の網目部で示した部分になるんだね。



### 解答&解説

曲線  $y = f(x) = x \cdot e^x$  とおくと、この曲線のグラフの概形は、右図のようになる。 $y = f(x)$  と  $x$  軸と  $x = -2$  とで囲まれた図形  $A$  を網目部で示す。



(1)  $-2 \leq x \leq 0$  のとき、 $f(x) \leq 0$

よって、求める図形  $A$  の面積  $S$  は、

$$S = -\int_{-2}^0 f(x) dx$$

$0 - f(x)$  の  
上側 下側  
 積分だね。

$$= -\int_{-2}^0 x \cdot e^x dx$$

$$= -\int_{-2}^0 x \cdot (e^x)' dx$$

$$= -[x \cdot e^x]_{-2}^0 + \int_{-2}^0 1 \cdot e^x dx$$

$$= -\{0 \cdot e^0 - (-2) \cdot e^{-2}\} + [e^x]_{-2}^0$$

$$= -2e^{-2} + \underbrace{e^0}_{1} - e^{-2}$$

$\therefore S = 1 - 3 \cdot e^{-2} = 1 - \frac{3}{e^2}$  となる。……………(答)

$$f'(x) = (x+1) \cdot e^x = 0 \text{ より,}$$

$$x = -1 \quad f(-1) = -\frac{1}{e}$$

増減表

$x$		-1	
$f'(x)$	-	0	+
$f(x)$	↘	$-\frac{1}{e}$	↗

$$\lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = \infty$$

$$\lim_{x \rightarrow -\infty} f(x) = 0$$

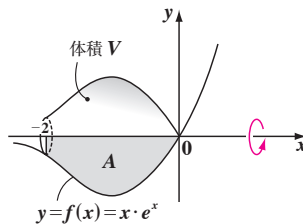
部分積分

$$\int_{-2}^0 f \cdot g' dx = [f \cdot g]_{-2}^0 - \int_{-2}^0 f' \cdot g dx$$

(2) 次に、図形 A を、右図のように、  
 x 軸のまわりに回転してできる  
 回転体の体積 V を求めると、

$$V = \pi \int_{-2}^0 \{f(x)\}^2 dx$$

x 軸のまわりの回転体の積分計算では、  
 $\{f(x)\}^2$  を積分するので、 $f(x) \leq 0$  でも気にせず、  
 そのまま積分すればいいんだね。



$$= \pi \int_{-2}^0 (x \cdot e^x)^2 dx = \pi \int_{-2}^0 x^2 \cdot e^{2x} dx$$

$$= \pi \int_{-2}^0 x^2 \cdot \left(\frac{1}{2} e^{2x}\right)' dx$$

$$= \pi \left\{ \frac{1}{2} [x^2 e^{2x}]_{-2}^0 - \int_{-2}^0 2x \cdot \frac{1}{2} e^{2x} dx \right\}$$

$$= \pi \left\{ \frac{1}{2} (0 - 4e^{-4}) - \int_{-2}^0 x \cdot \left(\frac{1}{2} e^{2x}\right)' dx \right\}$$

$$= \pi \left\{ -2e^{-4} - \frac{1}{2} [xe^{2x}]_{-2}^0 + \int_{-2}^0 1 \cdot \frac{1}{2} e^{2x} dx \right\}$$

$$= \pi \left\{ -2 \cdot e^{-4} - \frac{1}{2} (0 + 2e^{-4}) + \frac{1}{4} [e^{2x}]_{-2}^0 \right\}$$

$$= \pi \left\{ -3 \cdot e^{-4} + \frac{1}{4} (e^0 - e^{-4}) \right\}$$

$$= \pi \left( \frac{1}{4} - \frac{3}{e^4} - \frac{1}{4e^4} \right) = \frac{\pi}{4} \left( 1 - \frac{13}{e^4} \right) \text{ となる。} \dots\dots\dots \text{(答)}$$

$$= \frac{12+1}{4e^4} = -\frac{13}{4e^4}$$

部分積分  
 $\int_{-2}^0 f \cdot g' dx$   
 $= [f \cdot g]_{-2}^0 - \int_{-2}^0 f' \cdot g dx$   
 の 2 連発だね。

## 面積と極限の問題

絶対暗記問題 64

難易度 ★★★

CHECK1

CHECK2

CHECK3

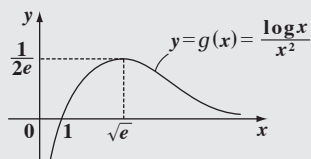
曲線  $y = \frac{\log x}{x^2}$  と、 $x$  軸と直線  $x = e^n$  とで囲まれる図形の面積を  $S_n$  とおく。ただし、 $n$  は自然数とする。

(1)  $S_n (n = 1, 2, 3, \dots)$  を求めよ。

(2) 極限  $\lim_{n \rightarrow \infty} S_n$  を求めよ。

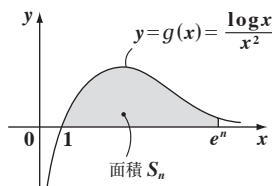
**ヒント!**

曲線  $y = g(x) = \frac{\log x}{x^2}$  とおくと、このグラフの概形については、P139 および絶対暗記問題 45(P142) で既に解説したように、右図のようになるんだね。



### 解答&解説

曲線  $y = g(x) = \frac{\log x}{x^2}$  とおくと、この曲線のグラフの概形は、右図のようになる。ここで、 $y = g(x)$  と  $x$  軸と直線  $x = e^n (n = 1, 2, 3, \dots)$  とで囲まれる図形を網目部で示す。



(1) この図形の面積  $S_n (n = 1, 2, 3, \dots)$

を求めると、

$$S_n = \int_1^{e^n} g(x) dx$$

$$= \int_1^{e^n} \frac{\log x}{x^2} dx \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

この形では積分が難しいので  $\log x = t$  と置換してみよう。

ここで、 $\log x = t$  とおく。

$x : 1 \rightarrow e^n$  のとき、

$t : 0 \rightarrow n$  となる。

$\log 1$

$\log e^n = n \cdot \log e = n$

よって、  
 $x = e^t$   
だね。

$$g'(x) = \frac{1 - 2\log x}{x^3} = 0 \text{ より,}$$

$$x = \sqrt{e} \quad f(\sqrt{e}) = \frac{1}{2e}$$

増減表

$x$		$\sqrt{e}$	
$g'(x)$	+	0	-
$g(x)$	↗	$\frac{1}{2e}$	↘

$$\lim_{x \rightarrow 0} g(x) = -\infty$$

$$\lim_{x \rightarrow \infty} g(x) = 0$$

また、 $\frac{1}{x} \cdot dx = \frac{1}{t} \cdot dt$  より、 $\frac{1}{x} dx = dt$   
 $(\log x)'$   $(t)'$

以上より、①の積分は、

$$S_n = \int_1^{e^n} \frac{\log x}{x} \cdot \frac{1}{x} dx = \int_0^n \frac{t}{e^t} dt$$

$$= \int_0^n t \cdot e^{-t} dt = \int_0^n t \cdot (-e^{-t})' dt$$

$$= -[te^{-t}]_0^n - \int_0^n 1 \cdot (-e^{-t}) dt$$

$$= -(ne^{-n} - 0 \cdot e^0) + [-e^{-t}]_0^n$$

$$= -ne^{-n} - (e^{-n} - e^0) = -ne^{-n} - e^{-n} + 1$$

$\therefore S_n = 1 - (n+1)e^{-n}$  ……② ( $n = 1, 2, 3, \dots$ ) となる。 ……(答)

部分積分  
 $\int_0^n f \cdot g' dt = [f \cdot g]_0^n - \int_0^n f' \cdot g dt$

積分区間が、 $1 \leq x \leq e^n$  だったため、この図形の面積は定数ではなく、自然数  $n$  の式で表されることになるんだね。

(2) (1)の結果の②より、 $n \rightarrow \infty$ のときの  $S_n$ の極限を調べる。

$$\lim_{n \rightarrow \infty} S_n = \lim_{n \rightarrow \infty} \{1 - (n+1) \cdot e^{-n}\}$$

$$= \lim_{n \rightarrow \infty} \left(1 - \frac{n+1}{e^n}\right)$$

$$= 1 - 0$$

$n \rightarrow \infty$ のとき、 $\frac{n+1}{e^n}$ は、  
 $\frac{\infty}{\infty}$ の不定形だけれど、  
 $\frac{n+1}{e^n}$  (= 中位の $\infty$  / 強い $\infty$ )  $\rightarrow 0$ となるんだね。

$\therefore \lim_{n \rightarrow \infty} S_n = 1$  (収束) となる。 ……(答)